

第4回三次市学校給食食材安定調達連絡協議会 議事録（概要版）

日 時 令和4年2月2日（水）14：40～15：55

場 所 オンライン会議（三次市役所本館3階会議室，6階601会議室ほか）

出席者 委員11名 事務局6名

1 開会・新委員の紹介・挨拶

新委員に委嘱状を交付し，新委員が自己紹介を行った。
村田会長が挨拶を行った。

2 議事

事務局が，次の内容に関する説明を行った。

- ①学校給食食材安定調達体制（案）について
- ②新学校給食調理場出荷要件（案）について
- ③新調理場における主要野菜必要量の目安について

3 委員からの意見（抜粋）

○3，500食規模なので，個人で納入される場合は，野菜の量や質を確保した状態で出荷して欲しい。

○個人出荷者が多いと支払い等の事務作業が増える。必要な量を出荷できる個人を選定する必要がある。ある程度，調理場が求める量を出荷して欲しい。

○野菜の規格や搬入時間が気になっている。調理場が求めているような野菜を出荷していただきたいが，なるべく柔軟に対応が出来るようにしていきたい。

○個人が納入する場合，数量等，搬入の最低ロット数のような基準はあるのか。

⇒出荷者が増えると，検収作業等も増える。じゃがいもであれば，必要量を2，3人の生産者に分けて納入するといったことが適切だ

と思う。

○個人納入者で支払い等の会計処理が難しい場合は，J A 三次の会員に登録し，J A から出荷する選択肢もある。

○グループ（団体）が出荷者登録をした場合は，調理場がグループ（団体）に支払い，グループ（団体）が個人に支払うというやり方が基本だと思う。

○生産者への割り振りは，コーディネーターが担うようになると思う。コーディネーターがある程度，出荷量を調整して，交代で納入してもらおうようになると思う。

○栽培履歴をどういう形で，会員に求めて，保管・記録をしていくのか。また，残留農薬の検査等，J A の取組を教えて欲しい。

⇒J A 三次は，毎年6月頃，会員に生産履歴の記帳を依頼している。農薬や肥料の使用について，記録をしてもらっている。残留農薬については，安全確保のために，年数回，ある程度期間を置きながら実施している。

○納品者数が多くなると事務処理が大変になると思う。なるべくグループ単位でまとまって出荷される方が良いと思うが，中には，自分の子どもや孫のために野菜を納入したいと希望される方もいると思う。J A 三次が窓口となって，個人の野菜をまとめて出荷するという仕組みがあれば出しやすいと思う。

○野菜の納入指定時間を，J A の出荷ルートに合わせてはどうか。

○野菜の重さが同じでも大きさなどが違い，農家の出荷の仕方も違ってくると思う。

○野菜の規格について，ある程度品種を揃えることも必要だと思う。調理場も，様々な品種が納品されると困るのではないか。作付けする前から出荷して欲しい品種については，要望を出してもらう必要があると思う。

○生産者へ説明する際に，発注から納品までの一連の流れを整理したものがあると良いと思う。

4 まとめ

○集荷運営形態（案）等について，本日の会議で出された意見を反映した最終稿を作成し提案する。

○野菜の品質や規格については，次回，事務局が作成した案を基に意見交換を行う。

○集荷運営形態（案）には，地産地消の取組の基本理念「三次の子どもたちに，三次産の農産物を取り入れた，安全・安心な給食を提供する。」を追記する。

○次回の会議は，協議内容に，法人等または個人が営む事業に関わる金銭の出納や経営に関わる情報，事業を営む上で必要とされるノウハウなどの情報が含まれる可能性があるため非公開とする。

5 閉会